

Q. 今の時代にお城を築くとしたらどんなお城？

※オリジナルのお城を描いて、その特徴やこだわりも書こう！

【POINT！】

生徒たち個々人で、現代の流行や将来のことを考えて、理想のお城を描いてみてください。

(例) 地震に備えて鉄骨で築くお城、太陽光やお堀の水力で電力を生み出すクリーンなお城 など

+αの視点

(下記の内容も考えてみよう！みんなの暮らしの中にもいっぱいあるよ！)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



丸亀市 × SDGs (持続可能な開発目標)



楽しくて、 おもしろい、「城育」 はじめました！

令和3年3月第2版

～さまざまな物事の見方・考え方を学ぼう！～

in 丸亀城

【教員用】



丸亀城HP



学校名	
学 年	年 組 番
なまえ	
班	

発行：香川県丸亀市新町6-2

(一財)丸亀市観光協会 TEL：0877-22-0331

0877-85-5852

本書物の概要とねらい

教育現場の皆様へ

この冊子は、丸亀城を舞台に、物事を「**多面的・多角的**」に見たり、考えたりする能力を養う「**きっかけ作り**」を目指しています。それは人生において予測できない社会を歩んでいく子どもたちにとって、必要な「**生きる力**」の1つだと考えます。

「丸亀城」という1つのお城には、先人の知恵や工夫が詰まっており、思わず「なるほど」と言いたくなる、さまざまな仕掛けが随所に施されています。

「**当たり前なこと**」に疑問をもち、この考えるワークを通して、今までの経験や既成概念にとらわれず、色々な視点や立場からの思考力を身につけるための一助になることを願っています。

普段の生活から「**多様性に着目する意識**」を強く持ってもらえると幸いです。

Q1. お城のイメージを話し合ってみよう！

【POINT!】

お城が身近な生徒もそうでない生徒も、お城に訪れたことがある生徒もこれから訪れる生徒も、自由にお城の印象やイメージを話し合って、共有してみてください。

(例) 昔の建物、お殿様が住んでそう、高いところにある など
※ちなみに丸亀城藩主は天守ではなく、城内にある現在の丸亀市立資料館付近に御殿を築き、住んでいたそうです。

フィールドワークの振り返り（考えたこと／感じたことを書こう！）

日常をさまざまな視点で考えよう！

いつも「当たり前」と思っていることを色々な“視点”や“立場”で考えてみてね！
(例) 学校では先生が教えてくれる。→もし、学校や先生がいなかったらどうする？
「世界には学校もない、教育を受けられない国や地域がある」

【POINT!】

この物事を多面的・多角的に考えるフィールドワークを通して、日常生活の中でも当たり前になっていることを今までとは異なる視点から見聞を深めてみてください。

(その他の例)

家庭や公園などでは、水道が引かれていて、蛇口から水が出る。中にはそのまま飲める水もある。
※現代(水道)と過去(井戸)、日本(水に恵まれている)と他国(水に困っている)などを比較して視野を広げてみてください。

FW-④ 石垣について（石垣修復現場を見て考えよう！）



崩落前

2018年7月・10月と西日本豪雨の影響で崩れた石垣。修復しなければならぬ石垣は約6,000個。2024年3月末までの5か年での復旧を目指します。



崩落後

石垣修復情報

必見!!

Q1. 石垣が崩れた理由を考えよう！

POINT：2018年の豪雨以外にも崩れた原因がないか考えてみよう！

【解説】

崩れた石垣は、造られてから350年以上も経っていて、長い年月の中で少しずつ歪みが進み、2018年には石垣全体が歪んだり、石垣と石垣の隙間が目立つようになった。そこに豪雨による大量の雨水が入り込み、石垣の中にある土に悪い影響を与えて崩れたと考えられている。

Q2. 崩れた石垣をどうやって積み直すのか考えよう！

POINT：昔と今ではどんな変化があるか注目しよう！

Ex. 昔はこんな大きな石をどこからどうやって運んだのかな？

今ではトラックやショベルカーがあるから一度にたくさん運べるね！など

【POINT!】

積み直しが必要な石垣は約6,000個あります。崩れた石の元の場所を見つける方法が特徴的です。また修復には、現場の工事関係者や地域住民、多くの寄付者の方々が関わっています。色々な立場から石垣修復完了まで誰がどんな働きをしているのかも考えてみてください。

【解説】

崩れた石垣は、崩れる前と同じ場所に積み直すので、どこにあった石なのか見つけ出さなければなりません。そこで活躍するのが「マッチングシステム」である。石には、割った跡や汚れやコケなど、よく観察すると一石ごとに違う特徴がある。「マッチングシステム」は、その特徴を崩れた後の石の写真から読み取って、崩れる前の石垣の写真から探し出し、元の場所を教えられる。

日本一の石垣の名城「丸亀城」

日本に現存する木造天守12城の1つで石垣の高さ・美しさが印象的な「丸亀城」。石垣は使用する石の加工方法によって、下の写真のように3つに分類されます。

※「はぎ」とは、つなぎあわせるという意味

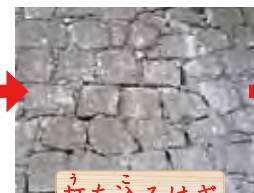


石垣見どころ



野面積み

大小さまざまな大きさの自然石を積み上げた石垣。ゆるい角度で直線的に積みまれています。あまり高く石を積むことはできません。



打ち込みはぎ

石の表面や石が接する部分を加工して、石と石とのすき間を小さくした方法です。すき間には間詰石という小さな石を詰めます。この方法では、野面積みよりも高く急な勾配で石垣を築くことができます。



切り込みはぎ

打ち込みはぎの石よりもさらに石を加工して形を整え、石どうしのすき間をなくした方法です。丸亀城では大事な場所に、この方法が使われています。



上の写真を参考に、お城のどんな場所に、どの積み方が使われているか、その理由も意識して見学してみよう！



二の丸井戸の伝説



二の丸の井戸

丸亀城築城の折、裸でせせと働く羽坂重三郎という男がいました。彼の働きもあり、壮麗な石垣が完成しました。殿様も「この城壁ならば飛ぶ鳥以外は乗り越えられまい」とご満悦でした。しかし、何を思ったのかその男は、「鉄の棒で登れます」と言い、すいすい城壁を登って見せました。そんな男が敵に寝返ったりしたら大変だと恐れた殿様は、二の丸の井戸の中を探らせる口実で、男を井戸に入らせている間に石を投じて殺してしまいました。

深さ約65m...
怖いぞるな!



FW-①

さま 狭間って？



丸亀城
スポットマップ

Q1. 何のために作られた？

POINT：三角形と四角形の2種類の穴があるよ！

【POINT!】

狭間のある場所や形から想像してみてください。

【解説】

大手二の門の左右に続く塙を「狭間塙」と呼び、狭間から外を監視し、敵が城門近くまで攻めて来たときに防御するために設けられている。

長方形のものが矢狭間（弓矢を放つ穴）、三角形のものは鉄砲狭間（鉄砲を撃つ穴）である。

（回答例）門番のため、城下町を見張るため など



狭間

Q2. 実際に見た感想や気づきなど

【POINT!】

狭間に開閉可能扉がついているのは、全国的にも珍しいです。

（回答例）

穴が小さい、見晴らしは意外と良い、狭間に開閉できる木の扉がある など



大手二の門

FW-②

いし おと 石落して？



大手一の門



石落し

Q1. 大手一の門の中に石落しがあるよ。なぜそこに作ったか考えてみよう！

【解説】敵が攻め込んできたときに、敵を迎撃するための防御設備として設けられている。石を落したり、上から櫓で突いたりしていたようだ。中には鉄砲を下に向けて撃っていたのではないかという説もある。また「石落し」のある大手一の門は、旧藩時代に太鼓を樓上に備えて、時報用としても使われており「太鼓門（たいこもん）」とも呼ばれている。

（回答例）敵が攻めてきたときに通る門だから、隠れ家になっているから など

FW-③

天守について



丸亀城 天守



城下町の眺め

Q1. お城からの景色を見て、そこに築城された理由を想像してみよう！

【POINT!】

天守や本丸から見える景色に注視してください。

北側には瀬戸大橋が見え、南東側には飯野山（別名：讃岐富士）を見ることができます。

【解説】

本州と四国の間で最も海峡が狭く、西国から江戸へ海を通って敵陣が攻めてくるのをいち早く発見でき、城下町も見渡せるため、亀山に築城されたとされている。

（回答例）

市内（城下町）を見渡せるから、何も遮るものがなく景色が良いから など

Q2. 天守の中のふしぎ・工夫を探そう！

【POINT!】

天守の中を観察すると水回りの設備跡がなく、お殿様は天守に住んでいなかったと見受けられます。実際は、丸亀市立資料館付近に御殿を築き、暮らしていたようです。

【解説】

丸亀城天守は高さ15メートル、三層三階で、全国で現存する木造天守十二城のうちの1つである。四国には4つの木造天守が残っているが、丸亀城天守はその中でも最古で1660年（万治3年）に完成した。天守は南北より東西のほうが長く設計されており、これは城下から天守を見たときに大きく見せる工夫であり、築城の際に美を意識されていたとも言われている。他にも天守内の急な階段は敵が登りにくいように作られていたり、様々な工夫が施されている。

※四国に現存する木造天守：

丸亀城（香川県）、伊予松山城（愛媛県）、宇和島城（愛媛県）、高知城（高知県）
（回答例）狭い、出入口が1か所しかない、階段が急である など